

NIPPON GOOD PARTS



NEWS

2013 No.270

9

月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

延長・中古車・リース専用保証修理向けにリユース・リビルトパーツを供給

マフレ・ワランティ・ジャパンとの 業務提携を通じ、NGP協同組合はより きめ細かな機能部品の供給体制を構築します

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合はこのほど、マフレ・ワランティ・ジャパン（福本英雄社長）と業務提携を結びました。今後NGP協同組合は、マフレ・ワランティ・ジャパンの各種保証商品のバックヤードとなり、故障の保証修理時にご利用いただくリユース・リビルトパーツを供給して参ります。

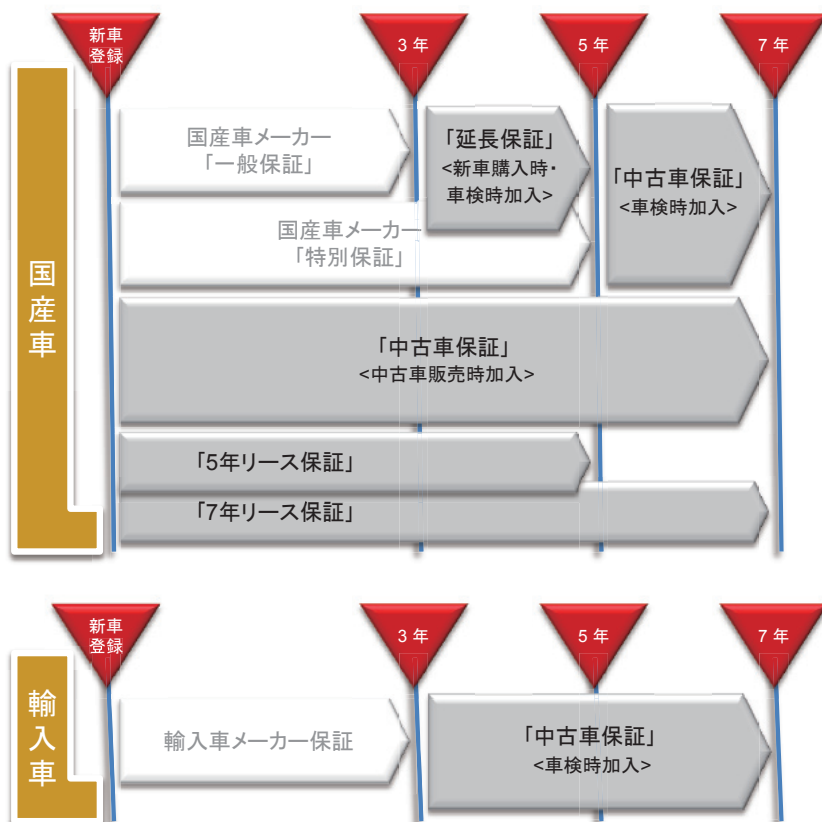
マフレ・ワランティ・ジャパンは2011年12月に設立されたばかりの会社です。その母体となるマフレS.A.は1933年に創立された、80年もの歴史を持つスペイン最大手の保険会社です。マフレS.A.は本拠地を置くスペインで生命保険事業、損害保険事業を展開するとともに、海外においても生命保

険、損害保険、再保険、アシスタンスサービス、グローバル・リスク事業を扱っています。2011年時点での全世界総従業員数は34,390人、代理店・販売店数は70,669店超にのびます。

また、マフレ・ワランティ・ジャパンに100%出資する直接の親会社であり、マフ

レS.A.の一員であるマフレ・アステンシアは、世界46カ国で保険事業、保証事業、アシスタンスサービスなどを展開しています。

こうした強固なバックボーンを持つマフレ・ワランティ・ジャパンは現在、日本国内において、以下3種類の自動車保証商品を販売しています。



メーカー保証と延長保証、中古車保証、リース専用保証との相関図

- ①「延長保証」：3年間の一般保証（国産車）やメーカー保証（輸入車）が終了した新車に対し、主に電装品の保証を2年間延長します。
- ②「中古車保証（車検）」：メーカー保証が終了したか継承できない車両の部品を、次回車検時まで保証します。中古車販売時あるいは2回目以降の車検時に加入できます。9機構を保証する標準的な保証商品、または業界最多水準の保証商品を選択可能です。
- ③「リース専用保証」：新車リース車両に対しリース期間中の部品を保証します。5年リースの場合は主に電装品が保証の対象になります。7年リースの場合、2年間は主に電装品を保証し、メーカー保証が終了して以降は、「中古車保証（車検）」と同等の保証を受けられます。

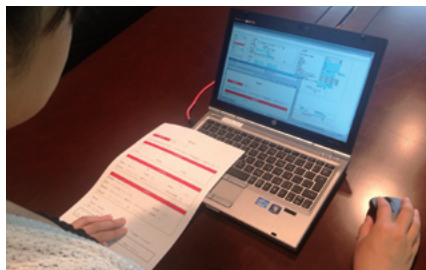


いずれの保証も、個人と法人双方の自家用乗用車を対象にしており、さらに「中古車保証（車検）」では、国産車は15万km以下・10年未満、輸入車でも10万km以下・8年未満の車両であれば加入することができます。また30日の免責期間が経過した後の保証期間中は、走行距離に関係なく何回でも、免責金額なしで保証が受けられます。

保証書発行および故障申請の手続には、マフレ・ワランティ・ジャパンが提供する業界初のWebシステムを使用します。このシステムのおかげで、自動車整備工場や中古車販売事業者はカーオーナーと自社で商談したその場で保証書を印刷し手渡すことができます。故障申請をする際も、車両の不具合箇所をデジタルカメラで撮影し、それをWebシステムからマフレ・ワランティ・ジャパンに送信することで、事務や管理業務に要する時間を大幅に軽減することが可能になりました。

マフレ・ワランティ・ジャパンは代理店に対するサポート体制も充実しており、専門の営業トレーナーがシステムの利用方法やカーオーナーへの販売戦略などを、データ分析に基づいて提案しているため、「保証商品をどう取り扱えばいいかわからない」という工場や販売店でも、スムーズにノウハウを身につけることができます。

NGP協同組合は現在、総売上高約470億円のうち6割を外装部品が占め、機能部品は3割、残りが電装部品という構成になっています。この提携を機に、マフレ・ワランティ・



Webシステムを使えば保証書の即時発行が可能

ジャパンが取り扱う保証商品向けにしっかりと供給体制を構築し、新しい市場を創造することで、機能部品の売上構成比を35～40%にまで拡大し、長年の目標である総売上高500億円を達成できると考えております。

NGP協同組合は今後、このマフレ・ワランティ・ジャパンのWebシステムと、NGP協同組合が持つコールセンターおよびオンライン部品受発注システム「NGPダイレクトシステム」とを連携させて参ります。

さらに、マフレグループがこれまで海外での各種保険・保証事業および自動車部品リサ



専門の営業トレーナーが代理店の工場・販売店を手厚くサポート

イクル事業を通じて培った、車種ごとの故障頻発部位データに基づき、利用頻度が高い部品を特定することが可能になります。これを受けてNGP協同組合は、利用頻度が高い部位を優先的により多く、そしてアッセンブリー単位ではなく部品単位で生産・在庫できる体制の構築に努めます。

こうした取り組みを通じNGP協同組合は、整備工場の皆様へ、リユース・リビルト部品をより豊富でめ細かく、そして素早く供給できる体制を構築して参ります。引き続きのご支援・ご協力を、心よりお願い申し上げます。



マフレ・ワランティ・ジャパン 福本英雄社長からのメッセージ

マフレグループは、保証商品の販売ではグローバル市場で25年の実績があります。また、自動車部品リサイクル事業も1997年より手がけており、車種ごとの故障率や壊れやすい部位のデータを豊富に蓄積して、それをベースに適正な保証料を算出しております。

マフレ・ワランティ・ジャパンは今後、より多くの企業・団体へ保証商品をOEM提供することで、販売ルートを拡大して参ります。また、タイヤ保険やギャップ保険、支払保証保険など、日本の自動車整備工場の皆様に向けた保証商品を順次追加し、充実させて参ります。

今月のトピックス

T O P I C S

10月の通常総会に向け、戦略会議で論議を尽くす 第10期事業方針、組織活動基本方針を議論

8月28・29日の2日間、富山県魚津市の金太郎温泉で、長谷川利彦理事長以下来期の新理事メンバーおよび委員長、顧問、相談役を含む30名で戦略会議および班別・テーマ別の分科会を開催しました。

第9期では総売上高目標を第8期に対し10%増とし、長年の夢である500億円達成を目指して参りましたが、実績は売上高が前期比2%増、生産金額は同94%程度になる見込みです。一方、使用済み車両の仕入れは、市場での相場が高騰し、またリース会社から

の引き取り車両が激減するなど、ますます厳しさを増しています。

人材育成についても、第9期は各種研修会の組合員受講料を本部負担とし、青年部会を1月に発足させるなど、これまで以上に取り組みを強化してきました。そして、「NGPエコひろば」の全国テレビCMを中心として、リサイクル部品の販売促進策を大規模に展開して参りましたが、それらの効果をどのように評価し共有すべきかが、大きな課題となっています。

来たる第10期では、2期目に入る長谷川理事長体制のもと組織体制を強化しながら、NGP協同組合がリサイクル部品業界のトップリーダーとしての存在感を、いかに内外へ示していくのか。また、総売上高500億円達成のため、人材育成を通じて組合員の生産・販売力を底上げしながら、いかに使用済み車両の仕入れを増やし、リサイクル部品の市場を拡大するのか。「NGPエコひろば」や「廃車王くるマック」は、そのあり方を見直ししながら、一般カーオーナーへどのようにアピールすべきか——。戦略会議および班別・テーマ別分科会では、これら幅広いテーマについて活発な議論がおこなわれました。

10月28日に開催される第9回通常総会では、戦略会議での議論を踏まえ、事業方針および組織活動基本方針を正式に決定します。その後NGP協同組合は、総力を結集して、これら山積する課題に挑んで参ります。



自動車復元技法・出張研修会開催

実車を使って交換パネルの見極めに挑戦
塗料、塗装トラブルについても学習

钣金、塗装の修理工程や交換パネルの見分け方などを座学と実習で学ぶ自動車復元技法・出張研修会が、7月3日から8月6日の1ヵ月間で合計9回、全国の各支部単位で開催されました。

同研修会は、使用済み自動車に対する修復歴の有無を確実にチェックし、適正な商品化を促すことでNGPグループとしてのさらなる品質の向上、標準化、規格化を目的としており、正会員のみならずシステム賛助会員の各社の受講を必須としています。

研修会は前半に座学を実施し、あいおいニッセイ同和自動車研究所研修企画部主席研究員の芹澤順次講師から直近の自動車の平均車齢や、昨年の自動車保険料率制度改定について解説を受けました。年々、自動車は高齢化、使用長期化が進み、さらに自動車保険料率制度が大きく変わったことにより、保険を使わずに事故車を修理するケースが増加し、今後はリサイクルパーツの活用機会もさらに増加する可能性が高いとの説明がありました。

次に、钣金塗装作業についての説明がおこなわれました。フレーム修正機を使った骨格部位の引き出し作業を伴う大ダメージの修理工程と、外板パネルだけの損傷の小ダメージの修理工程を、芹澤講師の解説と実際の作業を撮影したビデオを見ながら確認しました。

各修理工程の説明を聞いて、しのぶや・みどり工場の半澤修さんは「今まで、钣金作業は大体こんな感じだろうと思っていましたが、考えていた以上に細かい工程に別れていることを知り、非常に勉強になりました」と感想を述べています。

続いて、塗料に関して学びました。顔料、樹脂、溶剤といった塗料の成分や、乾燥の仕組みが異なる塗料の種類、塗色と塗膜構成に関して丁寧な解説がありました。

座学の最後には、修理作業における交換パネルの見分け方について、様々な判別方法のレクチャーを受けました。部品の取り付けボルトの傷や塗装跡、パネルの合わせ目や隙間などへのシーリングの状態により、新品のパネルか交換パネルかを判断できることを学び、カースチールの金井敏さんは「交換パネルへ施すシーリングは、新車時のシーリングとは絶対に同じにならないことを教わり、钣金しての再塗装なのか交換しての再塗装なのかを見分けるための重要事項として、今後の作業に活かしていきます」と力強く話しています。

また、塗装の塗り肌や不具合（トラブル）による再塗装の見分け方に関しても詳しく教わり、拓殖商会の中澤涼さんは「塗装のチェック作業をする際によく見る不具合ですが、どうしてこのような状態になるのかを知ること

ができ、今後は塗装不具合の原因まで考えながらチェック作業を行っていきます」と、日頃の業務に役立つ多くの知識、情報が得られたと語っています。

後半の実習では、参加者が3つのグループに分かれ、3台の実車を使って交換パネルや再塗装の見極めに挑戦しました。3台すべてをチェックした後、各グループで結果をまとめて発表し、それに対して芹澤講師が解答と解説を加え、質疑応答もおこなわれました。

研修会を終えて、田崎商店の田崎敦也さんは「リサイクル部品業界の人間であれば、当然知っていなければならないことを今回の研修会を通じて改めて教わり、良く理解することができました。今回の研修の内容を自社に持ち帰り、社員全員で再度勉強し、今まで以上に生産部品の品質向上に力を入れていきます」と感想を述べています。また、オートパーツ・ワイの神永大介さんは「今回の研修会で学んだ数多くのことを、これからの日々の業務で100%発揮して商品の品質向上、標準化に努め、お客様からの厚い信頼を受けることでNGPグループの発展につなげていきたいと思っています」と、力強く今後の抱負を語りました。



座学では修理工程や塗料、塗装不具合などについて詳しく説明



グループごとの結果発表に対して、講師が実車を使って解説

開催支部	開催地	開催日	受講人数
関西支部	兵庫	7月3日	10社12名
中四国支部	岡山	7月5日	20社23名
東海支部	愛知	7月10日	19社22名
北陸支部	福井	7月12日	11社15名
東北支部	宮城	7月17日	23社26名
九州支部	福岡	7月19日	16社19名
南関東支部	静岡	7月30日	26社26名
北関東支部	埼玉	8月2日	19社24名
北海道支部	石狩	8月6日	21社22名

NGP 今月のCO₂削減量

リサイクル部品利用に伴う削減効果

NGP 平成25年7月：

6,857t

NGP 1月からの累計：

46,478t

（全12団体 1月からの累計）
82,890t

※NGPをはじめとしたリサイクル部品販売事業12団体は、グリーンポイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO₂削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。



リターナブル梱包材利用に伴う削減効果

NGP 平成25年6月：

26.7t

NGP 1月からの累計：

176.8t

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を試算しました。

ELV機構、自動車リサイクル士制度認定講習会を東京からスタート 自動車リサイクル法の適切な普及・定着を担う 「自動車リサイクル管理士」誕生へ

NGP協同組合の長谷川利彦理事長が副代表理事を務める、日本ELVリサイクル機構（ELV機構、代表理事＝河村二四夫・河村自動車工業社長）が8月23日、日本自動車会館（東京都港区）で自動車リサイクル士制度認定講習会を開催しました。

これは使用済み自動車の適正処理促進を目的とするもので、ELV機構が従来開催していた全国地域団体講習会を発展させ、関係官庁、日本自動車工業会などの協力のもと、制度化に漕ぎ着けています。

認定講習は東京での関東ブロックを皮切り

に東北（仙台・9月12日）、北海道（札幌・10月4日）、近畿（大阪・10月17日）、沖縄（沖縄・11月8日）、中国（広島・11月20日）、四国（高松・12月11日）、九州（福岡・11月予定）、中部（岐阜・2014年1月中旬以降予定）のスケジュールで各ブロックを一巡します。

今年度は全国地域団体講習会の修了者を受講対象にしており、まずはリサイクル事業の関係者から自動車リサイクル管理士の認定を進めます。来年度からはカーディーラー、整備事業者など広範囲にわたり、自動車リサイ



講習会で挨拶する河村代表理事



認定講習会に合わせて新調したテキスト2冊組み

クル実務士の認定および制度の浸透を目指すこととしています。

関東ブロックの参加者は、受験者80余人を含む120人を超える規模になりました。講習会では新調したテキストを用いて、制度の概要をはじめ自動車リサイクルの実務、資源環境、安全作業・衛生管理、マネジメントなど計350分の講義がおこなわれました。

講習会の最後には40分の修了試験を実施しており、一定の基準を満たした者が自動車リサイクル管理士となる予定です。

第26回経営者研修会を実施

NGP組合員経営者として一致団結と成長を誓う

第26回経営者研修会が8月22～25日の4日間、BumB（ぶんぶん）東京スポーツ文化館（東京都江東区）で開催されました。全国の組合員経営者、幹部の中から計13名が受講し、NGPの歴史・組織の取り組み・三大信条の意義・理念などについて学びました。また、経営者のための企業会計、企業コンプライアンス、自動車整備業界の動きについて講義を受け、各社の事業計画を作成しました。

初日には長谷川利彦理事長がNGP三大信条と各委員会の取り組みについて講義をおこない、「しっかりと研修に参加し、学んだ内容を実践している会社は、右肩上がりの成長を続けています。皆さんは今回の内容を忘れず、10～20年のスパンで経営者としての人間性を確立しながら、事業を継続していただ下さい」と、受講者を激励しました。

そして、「社員も同じような訓練を受けていることを知ってもらうため」（岩井悟朗・教育委員長）、参加者は2つの班に分けられ、基礎研修会と同じく整列・ラジオ体操・挨拶からなる集団行動の訓練・試験が実施されました。さらにNGP三大信条、NGPマン心得5ヶ条、お客様第一10ヶ条、経営者基本心得5ヶ条、社員教育心得10ヶ条の暗記試験、NGPソングの試験もおこなわれました。

集団行動の訓練では整列位置やタイミングが揃わず、声も充分に出ない状態が続いたため、3日目の試験では不合格になりました。しかし最終日の4日目早朝、参加者全員で気が付いた点を確認しながら練習に励んだ結果、再試験では見事に息を合わせることができ、無事全員が合格しました。

CRS埼玉の峯田隆広さんは「初日とは全



5月31日に正組合員となった南商会の小柳孝行さんも参加



参加者を叱咤激励する長谷川利彦理事長

くの別人になれた仲間を目の当たりにし、限界は作るものではなく超えるものだとかわりました。そしてそのために必要なのが“本気！”と、あらゆる物事に本気で取り組み、限界に挑戦して乗り越えることの大切さを学んだとのことでした。

修了式では、「思いがひとつにならなければできないこと、思いが伝わればできること、必死になればできることをしっかりと伝えます」（南商会・小柳孝行さん）、と、NGP組合員経営者としての決意を表明しました。

支店営業所出店情報

支部	会社名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	出店日
北関東	株式会社カースチール東毛営業所	370-0321	群馬県太田市新田木崎町1780	0276-56-6411	0276-56-6412	25年8月31日

訃報

7月15日、エコブリッジ（青森県八戸市）中里明光代表取締役のご尊父、中里信男（なかさとのおぶ）様のご逝去されました。享年87歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>